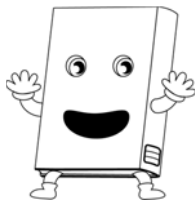


としょしつ 図書室だより



平成27年7月2日

横浜市立中村小学校
校長 中川和幸
学校司書 青木美佳

No. 4

なつほんばん あつさ き ゆういぎ すごそう
～夏本番！暑さなんか気にしない！有意義に過ごそう！～

7がつてーまてんし
7月テーマ展示
『夏だ！！チャレンジ！！
素敵な夏休み！！』



7がつ すこし なつやすみ ことし なつやすみ
7月になりました。あと少しで夏休みです。今年の夏休みはどんな
けいかく たてていますか？あそび はもちろん、しゅくだい じゆうかだい
計画をたてていますか？遊びはもちろん、宿題も自由課題もしっかり
やっ、たのしいなつやすみ をすごしてほしいと思います。

としょしつ なつやすみ よんでほしい おすすめの本や、じゆうかだい さんこう
図書室では、夏休みに読んでほしいおすすめの本や、自由課題の参考
となるような本をたくさんピックアップしています。ぜひ、けいかく
たてていろいろなことにチャレンジしてみてください。

なつやすみ よむほん かしだし 夏休みに読む本の貸し出しについて

つうじょう ほん かしだし いっしゅうかん ひとり2さつ
通常の本の貸し出しは一週間に一人2冊までですが、
なつやすみ よむほん ひとり3さつ なつやすみ あいだ かしだし
夏休みに読む本は一人3冊まで（夏休みの間）貸し出しをしま
す。

7がつ13にち 17にち なつやすみ よむほん かしだし
7月13日から17日まで夏休みに読む本の貸し出しをします。

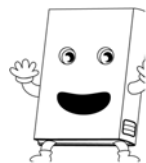
(この期間は通常の本の貸し出しはありません。)

この夏休みはぜひ、長編にもチャレンジしてみましよう。

この夏の課題図書も入ってきました。ぜひ図書室へ足を運んで
みてください。

なまえ けつてい 名前が決定しました！

ぶっくん
ブックン



ごきょうりょく
ご協力いただきありがとうございます。今後は、としょしつ
のいろいろな場所で見かけるとおもいます。ぶっくん
を使った図書室ゲームや本に親しむためのブックンをさがせゲームなども考えています。しやうさい
詳細はまた別途お知らせいたします。

つぎ おはなしかい 次のお話し会について

つぎ おはなしかい 9がつ よてい
次のお話し会は9月に予定しています。

ないよう 内容としては「詩」と「紙芝居」の予定です。
たのしみ 楽しみにしててください。



クイズ「もしもし」の語源はなに？

ごげん (語源とは・・・どうしてそのような名前がついたのかという理由のこと。その理由について考えてみましょう。)

つぎ なか 次の中から「もしもし」のもとになった言葉をえらびましよう。(答えはプリントの裏)

A: 「もしもおひまがあったら話をきいてください。」という問いかけから「もしも」が「もしもし」になったことば。

B: 中国に孟子という偉い人がいて、何を言うにも「孟子さまがおっしゃるには・・・。」と話を切りだして
いたことから出てきたことば。

C: 人によびかける時の「申す」から出てきたことば。(答えはプリントの裏にあります。)

よんで ～読んでみよう！おとぎばなし～

すうじ ひそむひみつ ふしぎな数字「3」に潜む秘密

お話しの世界では「3」という数字はとても不思議な役割を果たします。みなさんがよく知っている『三びきのやぎのがらがらどん』や『三びきの子ブタ』や『三年峠』や『三まいのおふだ』のように本のタイトルに「3」という数字が入っているものも多いですが、それ以外でもお話しの中で「3」という数字はよく出てきます。特におとぎばなしの中では、だいたい同じことが3回くりかえされ、一番最後の3回目には何か大きな変化が起こるものです。『三びきのやぎのがらがらどん』でも1匹目のがらがらどん、2匹目のがらがらどんが橋の下にいるトロールに声をかけられて食べられそうになります。3匹目のがらがらどんも同じように声をかけられますが、逆にトロールを退治してしまいます。3回繰り返すお話しは、3回目に何かが起こるといわけです。これは日本でも外国でも似たような傾向があります。

みなさんも「3」という数字を意識して、本を読んでみると面白いですよ。ぜひためしてみてください。

ごげん こたえ C クイズ「もしもし」の語源→答えはC

電話をかけるとき「もしもし」といいますが、これは「申し上げます」→「申す、申す」→「申し、申し」→「もしもし」と変化しました。江戸時代では、よく知らない人に声をかけるときに「もし」と言っていたようです。

なつかしいきょうかしよしりーず だいよんだん 懐かしい教科書シリーズ・第四弾

ぶす 『附子』

附子とは、トリカブトという植物の根を干して作った毒薬のことです。

室町時代に行われるようになった劇の一つに狂言というものがあります。狂言はおもしろいせりふやしぐさの多い喜劇です。狂言には大名と家臣、山伏、農民などのほかに動物や雷や鬼が登場するものもあります。ここでは太郎冠者と次郎冠者のかけひきがとてもおもしろく描かれています。せりふには昔の言葉が使われていて、観客に自分の紹介をしたり、物音を言葉で表すというような工夫もされています。

みなさんも声に出して読んでみましょう。きっとおもしろい発見がありますよ。

かだいとしょ しょうかい 課題図書を紹介



夏の課題図書を紹介しします。図書室でも7月13日から貸し出しをしますので、ぜひ読んでみてください。

★1・2年生向け

『あした あさって しあさって』

もりやまみやこ 作

『かあさんの しっぽぽ』

むらいりい 作

『クレヨンからのおねがい！』

デイウォルト 作

『はこぶ』 鎌田 歩 作

★3・4年生向け

『かふやのかご』 塩野米松 作

『パオズになったおひなさま』

佐和みずえ 作

『お話しかせてクリストフ』

コーンウエル 作

『ぼくはうちゅうじん』

中川ひろたか 作

★5・6年生向け

『ぼくの、ひかり色の絵の具』

西村すぐり 作

『ぼくとテスの秘密の七日間』

ウォルツ 作

『ちいさな ちいさな めに

みえない びせいぶつのせかい』

デイビス 作

『レジェンド！

葛西紀明選手と下川ジャンプ

少年団ものがたり』

城島 充 作

あたらしい コーナー ～新しいコーナーができました～

◆「今日は何の日？」コーナー

◆「今日のおすすめの本」コーナー

◆「おすすめの新しい本」コーナー

毎日少しずつ変わります。

ぜひ見に来てください。

